

未来の風をつかみ、大きく羽ばたけ

The University of Kitakyushu Information SEIRAN

発行日／2012年3月30日 発行元／北九州市立大学広報入試課

Seiran 青嵐

Vol.28

平成24年春号

公立大学法人

北九州市立大学 学報

題字：阿南 惟正 前理事長筆

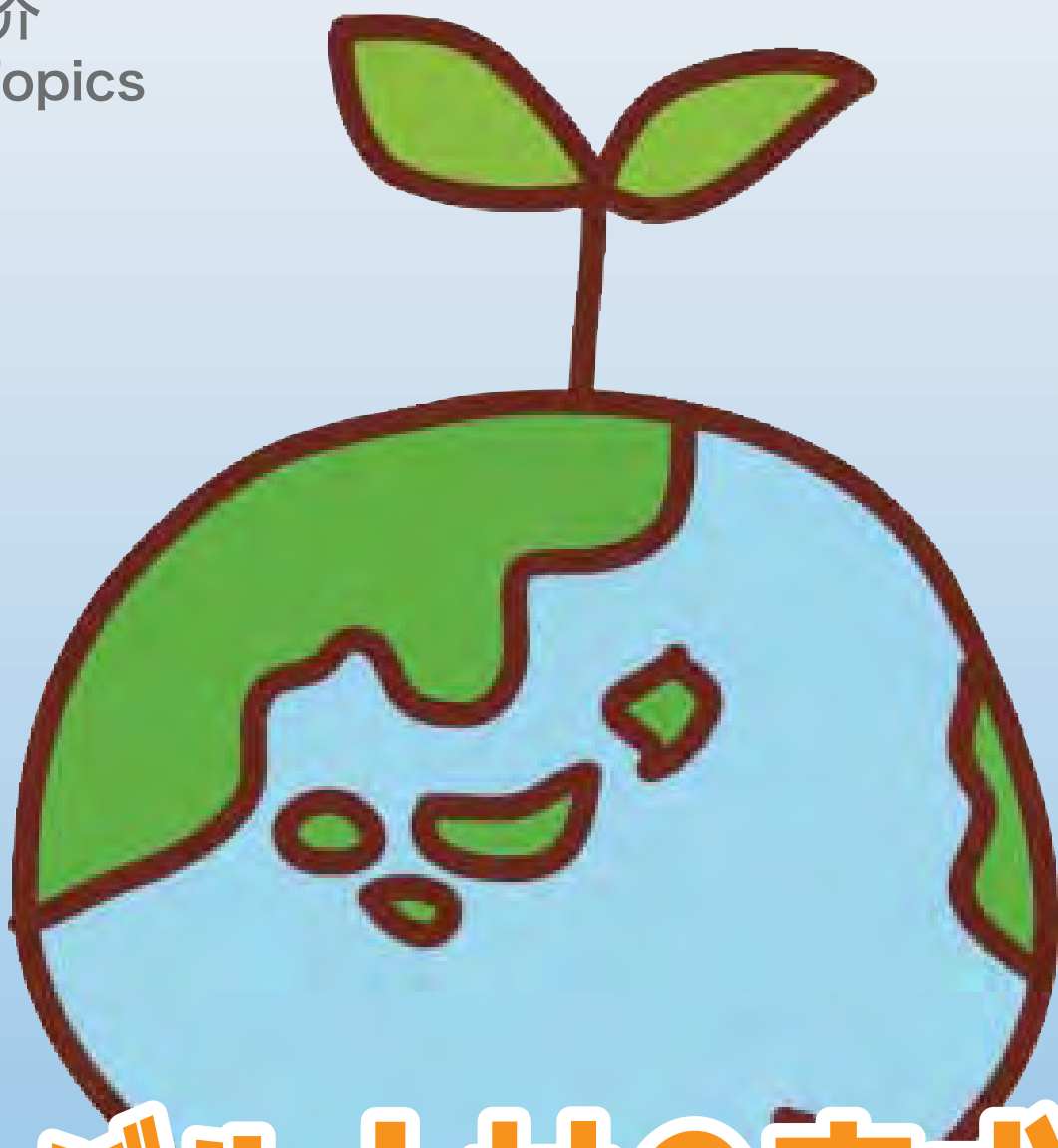
学位授与式／成績優秀者表彰

環境技術研究所開設

サークル紹介
学生表彰
入試志願状況
ゼミ紹介
会議・Topics

特集

グローバル人材の育成



大学時代は自分を

グローバル時代に活躍できる力を身につけよう！

Global Education Program

副専攻プログラム開設

経済社会環境のグローバル化が急速に進む中、
我が国、特に産業界においては、高度な語学力・コミュニケーション能力に加え、
異文化体験を身に付けた、国際的に活躍できる「グローバル人材」が求められています。
北九州市立大学では、外向き志向の意欲ある学生を後押しし、
国際社会で活躍できる次世代リーダーを育てるため、
「英語力+α(プラスアルファ)」を基本コンセプトとした
グローバル人材育成プログラムGlobal Education Programを
平成24年度に開設します。

グローバル人材育成プログラム(Global Education Program)とは

語学力を生かして、国際舞台に果敢にチャレンジしたいと考えている、意欲ある学生を応援するプログラムです。
まず、平成24年度、先行的に外国語学部を対象にしたGlobal Business Courseを開設します。
その後順次、対象を拡大していく予定です。

副専攻とは…

自分の学部学科における専門分野(主専攻)を学びながら、同時に、主専攻を補完・補強する分野、または学際的な領域などについて体系的に編成されたプログラムを一定単位以上学ぶものです。

特 色

①実践的な英語力の強化

TOEICスコアによる数値目標を修了要件の一つに設定し、グローバル人材に欠かせない実践的な英語力を高める教育を行います。
*Global Business Course: TOEIC800点以上
*Global Studies Course(平成25年度開設): TOEIC730点以上

②国際活動等への参加義務付け

グローバル人材に求められる異文化への適応力、海外へのチャレンジ精神など高めていくため、海外留学や国際機関等の活動へ参加することを、プログラムの修了要件としています。

③英語による授業の実施

開講する授業科目の半数は、英語だけによる授業を行います。英語力の向上とともに、ディベートやグループ討論を英語で実施し、論理的思考、説得する力を身につけます。

④留学生がクラスメイト

英語に堪能な留学生と一緒に授業を受け、世界中の学生と議論を交えながら、キャンパスの中でも実践的にグローバル感覚を身につけます。

⑤企業へのインターンシップの単位化

企業におけるインターンシップを単位化し、グローバル人材としての就業力を高めます。

⑥企業人による現場感覚のあるオムニバス講座

企業の実務者からグローバル・ビジネスの実態を学び、即戦力人材としてのグローバル・マインド等の素養を身につけます。

●この副専攻プログラムの詳細については、国際教育交流センターまでお問い合わせ下さい。

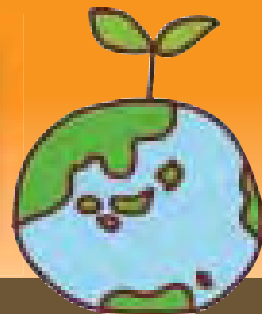
履修年次と履修の許可の申請要件

このプログラムは、2年次または3年次からの履修となります。なお、履修には、履修の許可の申請が必要です。

※()内は3年次からの履修を申請する者

Global Business Course	第1年次末(第2年次末)のTOEICスコアが600点以上	第1年次末(第2年次末)の累積GPAが2.5以上
Global Studies Course (平成25年度開設)	第1年次末(第2年次末)のTOEICスコアが550点以上	

磨くチャンス!



▶「英語力+α(プラスアルファ)」の2コース

Global Education Programでは、高度な英語力・コミュニケーション能力の養成と同時に、「+α」の教育として、ビジネス科目群を中心に学ぶGlobal Business Course、地域研究科目群を中心に学ぶGlobal Studies Courseの2コースを開設します。

※平成24年度は、外国語学部の学生を対象にGlobal Business Courseのみの開設となります。

副専攻プログラム		教育目的	募集定員	修了要件(以下の全てを満たすこと)		
Global Education Program	Global Business Course	地域(日本)に根ざしたグローバルな視点から事象を捉えることができ、主体的に行動し、高度で実践的な英語力、経営に関する知識を駆使して、国際社会で活躍できる人材の養成	20人	25単位以上修得	TOEIC 800点以上	[コース共通] ◇国際教育交流センターが認める国際的な活動への参加 ◇卒業時の累積GPA2.5以上
	Global Studies Course (平成25年度開設)	地域(日本)に根ざしたグローバルな視点から事象を捉えることができ、国際的な文化・社会への深い理解力、実践的な英語力を持った国際社会で活躍できる人材の養成	30人	23単位以上修得	TOEIC 730点以上	

▶プログラム修了者には、副専攻修了証を授与

Global Education Programを副専攻として位置づけ、プログラムを修了した学生には、卒業時に卒業証書に加え、大学として「副専攻修了証書」を授与します。

また、就職活動などでアピールできるよう、副専攻履修(修了予定)の証明書も発行します。

■副専攻Global Education Program 開講科目表

科目区分		授業科目	配当 年次	単位数	Global Business Course	Global Studies Course (平成25年度開設)
専門 教育 科目	ビジネス科目	経営学Ⅰ	2～	2	必修単位数:12単位	選択科目
		経営学Ⅱ	2～	2		
		国際経営	2～	2		
		企業研究Ⅰ	2～	2		必修単位数:4単位
		企業研究Ⅱ(インターンシップ)	3～	2		
		経営戦略概論	3～	2		選択科目
	地域研究科目	Japanese Affairs	2～	2	必修単位数:2単位	必修単位数:12単位
		Japanese Culture and Society	2～	2		
		Chinese Culture and Society	2～	2	必修単位数:2単位	
		English Speaking Cultures and Societies	2～	2		
		国際政治経済概論	3～	2	必修単位数:2単位	
		東アジア国際政治	3～	2		
		Chinese Economy	3～	2		選択科目
	英語学習科目	実践英語－中級1	2～	1	(同コースでは開講しない)	必修単位数:3単位
		実践英語－中級2	2～	1		
		実践英語－上級1	2～	1	必修単位数:3単位	
		実践英語－上級2	2～	1		選択科目
	演習科目	Global Business Seminar	3～	2	必修単位数:2単位	(同コースでは開講しない)
		Global Business Seminar(中国)	3～	2		
		グループ演習(ディベート・討論)	2～	2	必修単位数:2単位	必修単位数:4単位
		Global Studies Seminar	3～	2	(同コースでは開講しない)	
修了要件単位数					25単位以上	23単位以上

災害・環境対策の強みを生かして

3月1日 環境技術研究所 開設



1 設置の趣旨

平成23年度に始まった第2期中期計画では、「(仮称)環境科学技術研究所」を設置し、国際環境工学部がこの10年間に集積した環境・エネルギー、情報分野などの研究・開発を戦略的かつ一元的に推進していくこととされています。今回さらに、災害対策の視点を加え、「環境技術研究所」として平成24年3月1日に設置しました。

2 組織と目標

環境技術研究所は、理系初の常設の研究所として設置されたもので、災害対策技術研究センター、産業技術研究センターと国際連携推進センターで構成されています。

研究員としては、国際環境工学部に所属する全教員と北方キャンパスの希望する教員が兼務します。

所 長

梶原 昭博 副学長

副所長(所長の総括的補佐)

上江洲 一也 国際環境工学部 環境生命工学科 教授

副所長(災害対策技術担当)

伊藤 洋 国際環境工学部 エネルギー循環化学科 教授

(1) 災害対策技術研究センター(センター長:山本郁夫 機械システム工学科 教授)

地球規模で地震や津波、河川の氾濫、山火事などの災害が世界各地で発生し、我が国においても、昨年3月の東日本大地震の津波被害や原子力発電所の放射能漏れなど、大きな災害が発生しました。多くの人々の生命や健康、財産を奪うこれらの災害は究極の環境問題であるとの認識のもと、国際環境工学部がこの10年間に集積した災害対策技術を生かして社会貢献するために、常設の「災害対策技術研究センター」を設置しました。

国際環境工学部が保有する災害対策技術の例としては、以下のようなものがあります。

- ・多機能盛土 放射性汚染土壌の密封技術
- ・改質フライアッシュコンクリートを利用した被災地のインフラ建設

(2) 産業技術研究センター(センター長:上江洲一也 環境生命工学科 教授)

北九州市や北九州産業学術推進機構(F A I S)、企業、研究機関と連携し、引き続き、「世界の環境首都への貢献」、「ものづくり首都への貢献」に繋がる研究を行います。

(3) 国際連携推進センター(センター長:安井英斉 エネルギー循環化学科 教授)

海外の研究機関との学術交流、国際シンポジウムの開催など、国際研究連携の推進を目指します。

平成23年度学位授与式

1549人が新たな旅立ち

第60回北九州市立大学学位授与式が、平成24年3月24日(土)多くの卒業生のご家族や多数の来賓に見守られるなか執り行われ、学部生1353人、大学院生196人が本学を卒業しました。



石原進理事長挨拶



近藤倫明学長による告辞



学部卒業生総代、新山千夏さん
(外国語学部国際関係学科)



北方キャンパス

平成23年度成績優秀者表彰

成績優秀者表彰制度とは、3年終了時までの累積GPAを基本にした成績の優秀な学生や優れた卒業論文を執筆して指導教員から推薦を受けた学生を表彰するものです。

今年度は、次の学生を対象として3月16日(金)に表彰式が行われ、近藤学長から賞状と記念品が贈られました。

学部	学科	氏名
外国語学部	英米学科	亀田 倫世
		古賀 鈴子
		宮崎 香代子
	中国学科	松森 美樹
		緒方 優美子
		飯田 舞子
	国際関係学科	澤木 麻友子
		酒井 莉沙子
		高橋 幸平
経済学部	経済学科	國重 知奈美
		北浦 翼
		岡崎 翔悟
	経営情報学科	リン サイウェイ
		川嶋 菜々恵
		厚海 智美

学部	学科	氏名
文学部	比較文化学科	大川 留奈
		河野 智子
	人間関係学科	清輔 咲子
		船野 佳菜子
		町田 佳菜子
法学部	法律学科	廣田 早紀
		横林 希美
		津曲 ゆか
	政策科学科	宮嶋 宏明
		假屋 拓
		江原 美歩
		佐藤 奈美
地域創生学群	地域創生学類	細川 千絵
		末松 朋恵
		函師 万理子
		野中 美和

充実した キャンパスライフを応援!

新入生のみなさん! ようこそ北九州市立大学へ!
サークル活動には新たな発見や新たな出会いが待ってます。

北方キャンパスサークルリスト

●文化系

- ▶音楽系
J a z z 研究会 K & K
軽音ナイツ
ピアノ会
軽音楽 W I N D F A L L S
吹奏楽団
マンドリンクラブ
混声合唱団 コール・ユーフォニー
アカペラの森
よさこいサークル 灯炎
管弦楽団
アコースティックギター部
軽音楽 F L A S H
- ▶語学系
E . S . S (米英研究会)
中国言語文化研究会
P E C C
- ▶展示系
囲碁・将棋部
映画研究会
演劇研究会
茶道研究会
写真部
美術研究会
放送研究会

- 落語研究会
ワークキャンプ
漫画研究会
S F 研究会
大道芸愛好会
生涯学習研究会 学び舎
北九州ボランティアリーダー
インテリア研究会 クラシアン
映像制作集団 ロマングラム
国際協力ボランティアサークル Linc.

- ▶学術系
会計学研究会
現代社会研究会
文芸研究会
古文書研究会
法学研究会
民俗学研究会
心理学研究会
ユースホステル愛好会
ラテンアメリカ研究会
考古学研究会
パソ研「chair」
模擬国連
広告研究会
都道府県研究会

●体育系

- ▶武道館系
空手道部
少林寺拳法部
柔道部
剣道部
ボクシング部
重量挙げ部
弓道部
合気道部
- ▶体育館系
バスケットボール部
バドミントン部
バレーボール部
卓球部
ハンドボール部
Ⅱ部バスケットボール部
Ⅱ部バドミントン部
フットサル部
- ▶グラウンド系
サッカー部
陸上競技部
ラグビー部
硬式野球部
硬式庭球部
ソフトテニス部
軟式野球部
ラクロス部

- ▶学外系
航空部
馬術部
ヨット部
ワンダーフォーゲル部
サイクリング部
自動車部
山岳部

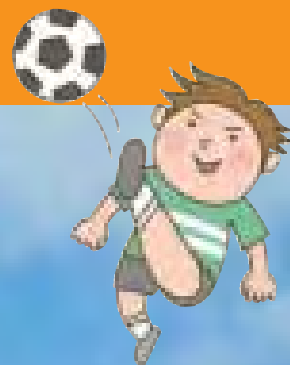
ひびきのキャンパス サークルリスト

●文化系

- ギターサークル
芸術サークル クラスタ
天文学サークル
軽音楽サークル
ブラスバンドサークル
茶道サークル
写真サークル『photo_poto』

●体育系

- ソフトテニスサークル
ダンスサークル
バスケットボールサークル
バドミントンサークル
バレーボールサークル
ひびきの空手道部
ひびきの自動車部
ひびきのテニスサークル
HIBIKINO RC(陸上)
野球サークル
卓球サークル
水泳サークル
柔道サークル



ゼミ紹介◎ 北九州市立大学

新しいことへの チャレンジを応援

都市政策研究所 教授 吉村 英俊

私たちのゼミのテーマは「新事業」、つまり「新しいことへのチャレンジ」です。若い人に必要なのは多岐にわたる好奇心と一歩踏み出す勇氣です。仕事を進めていく上では、ヘッドワーク(知識)はもとより、フットワーク(行動力)とネットワーク(人脈)が大変重要になってきます。

ゼミでは自分自身が興味を持ち、みんなに知って欲しいと思うことを発表し、意見交換を行います。最近ではEUの経済危機やイランの核開発に伴う制裁など、国際問題も取り上げています。また本物(人・モノ)に直接触れ、五感で感じ、自分なりに評価することも重要です。月に一度、北九州市内の企業や施設を訪問して、経営者や担当者から生の声を聞いています。これまで、モノづくりの現場や昨年秋に開業した金融機関、建設業から介護事業へ新分野進出をはかる事業者、国際技術協力や環境保全にかかわる公的機関などを訪問しました。中小企業では経営



企業訪問

者自らが、会社説明はもとより「生き方」について熱く語っていただき、毎度感動しています。

最近よく若い人は内向きだと言われていますが、チャンスを与え、そっと背中を押してあげるだけでどんどん積極的になってきます。今後とも彼ら・彼女らの成長をしっかりと見守っていきたいと思います。



PROFILE

吉村 英俊(よしむらひでとし)

都市政策研究所 教授、博士(学術)、中小企業診断士
産(TOTO)官(北九州市役所)学(北九州市立大学)の分野で実務経験を有しており、この間一貫して「モノづくり」に携わってきた。現在、北九州地域のベンチャー企業やベトナム・ハイフオンの裾野産業の育成、太陽光パネルのリサイクルなどに取り組んでいる。著書に「イノベーション構造と都市創生」などがある。

「いまどき中国」を探る

外国語学部国際関係学科 准教授 下野 寿子

下野ゼミでは、歴史・制度的要因・社会現象など多様な観点から現代中国を観察し、議論しています。歴史や領土など解決の難しい二国間問題により、中国は日本人にとって冷静に観察することが難しい対象となっています。しかし、相違点だけをあげつらい、相手を批判するだけでは建設的な関係を築くことはできません。引越しのできない間柄ですから、喧嘩せずにうまく付き合っていく方法を模索することが重要です。

ゼミ恒例行事は、2学期最後の授業で行う日中外交交渉ゲームです。3・4年ゼミ生が全員参加して日本と中国の政府代表となり、それぞれの国益の増進を目指します。これまで習得した知識に加えて、チームワーク、リーダーシップ、情報収集力、戦略的な発想、交渉力が問われます。参加者によれば、大変緊張するけれども楽しいそうです。

ゼミに入ってくる学生の関心はさまざまですが、毎年ほとんどのゼミ生が、旅行・大学の交換留学プログラム・私費留学に参加して現地体験をします。現地で遭遇する「不思議」を教室で学んだ知識と議論で理解し、美食と人々のおおらかさに触れ、チャイナ・ウォッチを楽しんで



下野ゼミ



PROFILE

下野寿子(しも の ひさこ)

外国語学部国際関係学科 准教授

山口県生まれ。カリフォルニア大学サンディエゴ校、中国人民大学への留学を経て、立命館大学大学院で博士号(国際関係学)取得。2006年4月より現職。著書に『中国外資導入の政治過程—対外開放のキーストーン』、『中国の政治外交Ⅰ・Ⅱ』、『地域研究入門(中国)』などを担当。

います。ゼミ生には、大学時代に得た知識と経験をさらに発展させて、アジア人あるいはグローバル人として将来活躍することを期待しています。

THE UNIVERSITY OF ENJOY! K ITAKYUSHU LIFE!

北九州市立大学には様々なサークル、学生活動があり、それぞれ活気に満ちた学生生活を楽しく送っています。そんなサークル活動や学生活動の成果をご紹介します。

平成23年度学生表彰

平成24年2月28日、学長はじめ副学長、学生部長、各学部長が出席し、平成23年度学生表彰式が行われました。学生表彰は、学術研究活動や課外活動で、特に顕著な業績・成績を挙げ、学界または社会的に高い評価を受けたり、社会活動などで社会的に高い評価を受け、本学の名誉を高めたりした学生を表彰するものです。

今年度は、次の7人1団体に贈られました。



土田 栞 さん
地域創生学群 地域創生学類 3年
(個人)

顕著な業績・成績等

東日本大震災関連プロジェクトのリーダー
学生ボランティア現地派遣団学生リーダー

東日本大震災関連プロジェクトのリーダーとして企画・実施に中心的な役割を果たしました。また、学生ボランティア現地派遣に際し、学生リーダーとして派遣団をまとめ、現地で高い評価を得る活動に寄与した。



梅田 幸江 さん
地域創生学群 地域創生学類 3年
(個人)

梅田さんは写真右

顕著な業績・成績等

東日本大震災関連プロジェクト企画リーダー
学生ボランティア現地派遣団学生サブリーダー

東日本大震災関連プロジェクトのメイン企画の一つである、避難者向けツアーの企画リーダーとして顕著な役割を果たした。また、学生ボランティア現地派遣に際し、学生サブリーダーとして派遣団をまとめ、現地で高い評価を得る活動に寄与した。



劉 兵 さん
国際環境工学研究科 環境システム専攻 博士後期課程 1年
(個人)

顕著な業績・成績等

First International Anammox Symposium 2011において
優秀発表賞(口頭発表部門)を受賞

平成23年5月に熊本大学(熊本市)で開催された、国際シンポジウム(国際アナモックスシンポジウム組織委員会主催)において、口頭発表部門で優秀発表賞を受賞した。



藤山 淳史 さん
国際環境工学研究科 環境システム専攻 博士後期課程 1年
(個人)

.....
顕著な業績・成績等
社団法人 環境科学会2011年会において最優秀発表賞(富士電機賞)を受賞

.....
平成23年9月に関西学院大学(兵庫県西宮市)で開催された、環境科学会2011年会において、「循環資源の品目特性と処理効率に基づいた最適循環圏に関する分析」の発表が最優秀発表賞(富士電機賞)を受賞した。



竹森 美寿々 さん
地域創生学群 地域創生学類 3年 剣道部所属
(個人)

.....
顕著な業績・成績等
平成23年度全九州女子学生剣道選手権大会において第3位
第45回全日本女子学生剣道選手権大会出場

.....
平成23年5月7日にアクション福岡(福岡市)で行われた平成23年度全九州女子学生剣道選手権大会において第3位に入賞し、7月2日に大阪府立体育館(大阪市)で行われた、第45回全日本女子学生剣道選手権大会に出場した。なお、本学剣道部女子部員として初の全国大会出場だった。



松森 美樹 さん
外国語学部 中国学科 3年 中国言語文化研究会所属
(個人)

.....
顕著な業績・成績等
2011年度五星奨—中国語コンテストスピーチの部において最優秀賞受賞
第10回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト出場

.....
平成23年5月に本学で開催された「2011年度五星奨—中国語コンテストスピーチの部」において最優秀賞を受賞し、7月10日～8月8日に中華人民共和国湖南省長沙市で開催された「第10回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト」に出場しました。



村上 昌子 さん
文学部 人間関係学科 1年
(個人)

.....
顕著な業績・成績等
第4回「詩のボクシング」長崎大会において優勝
第11回「詩のボクシング」全国大会において準優勝

.....
平成23年8月に長崎県で行われた、「詩のボクシング」長崎大会で優勝し、10月に開催された「詩のボクシング」全国大会に出場し、準優勝という優秀な成績を収めた。



楢原 真二ゼミ(代表者:濱田千夏 ほか10名)

法学部 政策科学科
(団体)

.....
顕著な業績・成績等
公共政策フォーラム2011 in 藤沢において最優秀賞(藤沢市長賞)受賞

.....
平成23年10月29日に神奈川県藤沢市で開催された「減災まちづくり」をテーマにした日本公共政策学会主催の学生政策コンペにおいて最優秀賞にあたる「藤沢市長賞」を受賞した。

北九州市立大学

平成24年度 一般選抜入学試験

入 試 結 果

確定志願者・合格者数

学部・学群	学 科	前 期				後 期		
		区 分	募集人員	志願者数	合格者数	募集人員	志願者数	合格者数
外国語	英米学科		72	291	95	10	126	18
	中国学科		44	152	62	6	82	8
	国際関係学科		50	155	68	10	121	14
経済	経済学科	(4教科)	62	(50)	200	10	107	17
		(3教科)		(12)	129			
	経営情報学科	(4教科)	62	(50)	234	10	99	15
		(3教科)		(12)	62			
文	比較文化学科		70	205	104	10	312	11
	人間関係学科		40	126	46	10	108	12
法	法律学科		100	317	129	15	273	32
	政策科学学科		40	72	49	10	78	16
地域創生	地域創生学類	(通常枠)	35	395	73			
		(夜間特別枠)	若干名	10	0			
国際 環境工	エネルギー循環化学科		25	78	27	10	184	14
	機械システム工学科		25	63	26	15	278	17
	情報メディア工学科		42	90	44	20	356	26
	建築デザイン学科		32	90	34	7	128	7
	環境生命工学科		20	37	25	20	373	21
合 計			719	2,706	969	163	2,625	228

お知らせ

学生定期健康診断

平成24年度学生定期健康診断の日程は以下の通りです。

日 付	受付時間	対 象
4月9日(月)	10時～19時	新3年生、新4年生、大学院生
4月10日(火)	10時～19時	
4月11日(水)	10時～19時	新入生、新2年生
4月12日(木)	10時～19時	
4月13日(金)	10時～18時	予備日(未受診者)
4月14日(土)	10時～18時	

※出来るだけ自分が所属する学年の日付で受診して下さい。
ただし、どうしても都合が悪い場合は、他学年の日付でも受診可能ですので、必ず受診して下さい。

※この定期健康診断を受診していないと、健康診断証明書が発行できません。

※日程等が変わる可能性もありますので、学内掲示板等で詳細を確認して下さい。

第2期中期計画を強力に推進するため 平成24年4月1日、事務局組織を改正

今回の組織改正は、第2期中期計画を強力に推進することを目的としています。

★組織改正のポイント

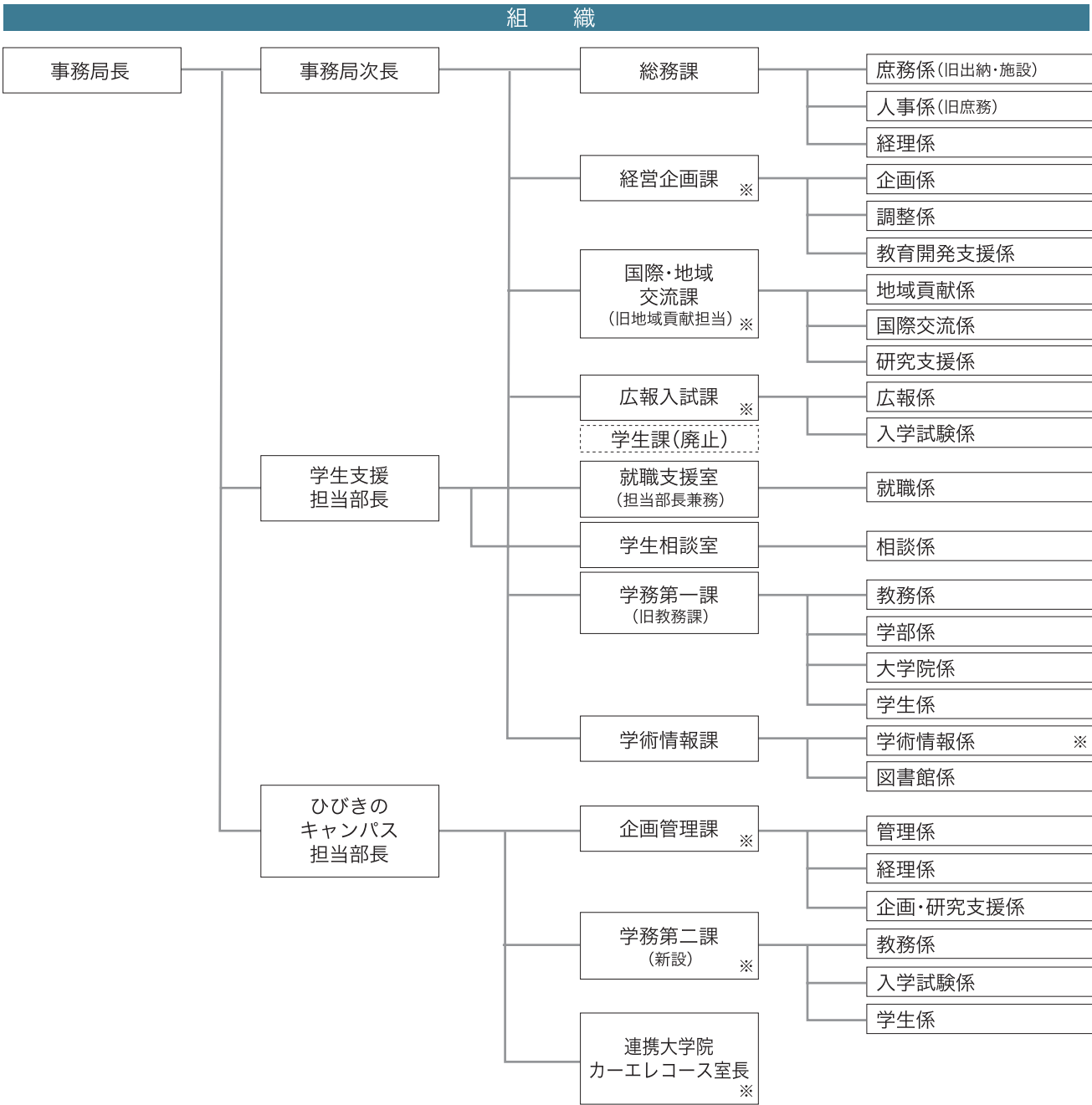
(1) 北方キャンパス

- 国際・地域交流課の新設(総務課・地域貢献担当(スタッフ)の改組)
 - 大学としての国際交流を戦略的に推進(全学的な国際化推進体制の整備)
 - 外部資金獲得のための情報収集等や北方における研究支援の積極的な推進
- 学務第一課の新設
 - 現行の教務課の改組(学生係の統合等)
 - 修学面のサービスと学生生活に関連したサービスを一体的に提供
 - 教務事務と学生事務の相互の連携強化・繁忙期における柔軟な応援体制

(2) ひびきのキャンパス

- ひびきのキャンパスの二課体制
 - ひびきのキャンパスにおける事務を管理部門(企画管理課)と教学部門(学務第二課)とで分担
 - 管理課長の過大な管理スパンの解消及び管理・教学部門の体制強化
 - 環境技術研究所(H24.3設置予定)の運営に関する積極的な研究支援

実施時期は、平成24年4月1日。



注意！土曜日の休業について

“※”のついた課・係では、4月以降原則として土曜日は休業日になります。ご注意ください。
なお、それ以外の課・係についてはこれまでどおりです。

会議開催

第24回経営審議会

平成24年3月16日(金)

【審議事項】

- 第1号 平成24年度計画案について
- 第2号 平成24年度予算案について
- 第3号 公益通報制度について

【報告事項】

- 1 認知度向上プロジェクト会議の設置について
- 2 入試状況について
- 3 就職状況について
- 4 附属施設の設置について
 - (1)図書館について
 - (2)情報総合センターについて
 - (3)環境技術研究所について
- 5 副専攻(Global Education Program)について

教育研究審議会

第154回

平成24年1月17日(火)

- ・特命教授の採用について
- ・昇任選考方法・スケジュールについて
- ・学部等教育改善委員会規程及び大学院教育改善委員会規程の改正について

第155回

平成24年1月31日(火)

- ・教員の採用について
- ・教員の再任について
- ・環境技術研究所設置に伴う関係規程の改正について
- ・学生表彰について
- ・平成24年度計画(素案)について
- ・外国語学部規程の改正について

第156回

平成24年2月14日(火)

- ・教員の採用について
- ・特任教員の選考について
- ・環境技術研究所の所長及び副所長の選考について
- ・昇任選考委員会の設置について
- ・各種委員会等の推薦依頼について
- ・人を対象とする研究に関する倫理審査体制の整備について
- ・学部規程等の改正について

第157回

平成24年2月28日(火)

- ・教員の採用について
- ・特任教員の選考について
- ・教務部長の選考について
- ・平成24年度4月昇任人事 法学部選考委員の変更について
- ・教育目的の明確化に伴う学則等の改正について
- ・平成23年度後期学友会交渉申し入れに対する回答(案)について
- ・東日本大震災に係るボランティア活動の実施期間延長について
- ・認知度向上プロジェクト会議の設置について
- ・平成24年度計画(案)について

第158回

平成24年3月13日(火)

- ・昇任選考委員会による選考結果の審議について
- ・特任研究員の選考について